

免許状教科	中学校 1 種 (社会)・高等学校 1 種 (地理歴史・公民・商業)			
科目名	<b>教育実習の指導</b>	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Guidance for Teaching Practice	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	いちほら みつまさ	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	市原 光 匡	修得単位	1 単位	
授業のテーマ	教育実習の流れ・手続きをふまえ、教育実習への心構えを養う。また教育実習に向け効果的な学習指導案を作成する。			
授業概要	教育実習を見すえ、その流れ・手続きについて解説していく。また、実践的な内容として、指導案の作成と生徒の理解や問題行動への対応についても課題として取りあげる。			
到達目標	1. 教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高めることを通して、実習の意義を理解し、説明できること。 2. 効果的な学習指導案を作成できること。			
授業時間外の学習	近年の教育をめぐる諸問題について、普段から調べ、自分なりに考えておくこと。授業で取りあげたこと がらについては、その都度ふりかえるようにすること。			
履修条件	次年度に教育実習を行う学生を対象とする。			
授業計画				
第 1 回	ガイダンス (教育実習の概要)			
第 2 回	教育実習の体験談			
第 3 回	指導案の作成法			
第 4 回	指導案の検討			
第 5 回	指導案の発表・報告			
第 6 回	生徒理解の方法			
第 7 回	問題行動への対応			
第 8 回	教育実習の手続き			
第 9 回	定期試験			
第 10 回				
第 11 回				
第 12 回				
第 13 回				
第 14 回				
第 15 回				
第 16 回				
テキスト	小山茂喜 [編著]『新版 教育実習安心ハンドブック』学事出版, 2014.			
参考文献・資料	必要に応じて授業中に適宜指示する。			
成績評価の方法	平常点 30%、課題 30% (指導案の作成・発表・提出)、定期試験 40%の比率で評価する。 ・出席回数が規定に満たない場合は定期試験を受験することができない。			
成績評価基準	【平成 27 年度 (2015) 以前に入学した学生】 優 (100~80 点)、良 (79~70 点)、可 (69~60 点)、不可 (59 点以下) 【平成 28 年度 (2016) 以降入学した学生】 秀 (100~90 点)、優 (89~80 点)、良 (79~70 点)、可 (69~60 点)、不可 (59 点以下)			

オフィスアワー	① 毎週火曜 10:40～12:10 ② 毎週金曜 10:40～12:10
学生への メッセージ	教育実習をおこなうという自覚のもと、無断欠席・遅刻等は慎むこと。